

国府中学校浄化槽撤去工事 特記仕様書

1 工事場所	大磯町月京40番 1 号 大磯町立国府中学校
2 浄化槽概要	(1) 解体数: 1 基 (2) 外寸: 9.95m×5.70m (3) 構造: 鉄筋コンクリート造 (4) その他: 別添図面を参考とする。
3 工事概要	<ul style="list-style-type: none">・ 浄化槽解体工事 (一部存置・図面参照。浄化槽内は清掃及び消毒済。)・ 浄化槽機器撤去及び処分・ ネットフェンス撤去及び処分・ 底盤削孔・ 浄化槽内埋め戻し・ 機械室解体後に路盤及び舗装 (駐車場利用を想定)
4 工事基準	(1) 本工事は、設計図書、特記仕様書、電気設備技術基準、電力会社内線規定、消防法 (昭和23年法律第186号)、建築基準法 (昭和25年法律第201号)、関係官庁規則及び工事請負契約書に準拠し施工する。その他特記のない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書 (最新版)」 (以下「解体共通仕様書」という。) により、解体共通仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) (最新版)」による。 (2) 解体等については、大気汚染防止法 (昭和43年法律第97号)、労働安全衛生法 (昭和47年法律第57号)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律第137号) 及び建築物の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル (環境省水・大気環境局環境管理課) を遵守すること。 (3) 工事着手前に解体部分の事前調査 (残存物、付着物、有害物資等の確認を含む。)、調査結果等の当町監督員への説明、必要により調査結果の掲示を行うこと。
5 質疑	設計図書及び特記仕様書に疑義がある場合は、当町監督員と協議の上、当町監督員の指示に従うものとする。なお、設計図書及び特記仕様書に示す範囲において、明記されていない部分であっても、技術上又は施工上本工事完成に当然必要と認められるものは本工事に含まれるものとし、請負者の負担において、当町監督員の指示に従って施工しなければならない。
6 使用材料	材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又はこれらと同等以上とする。ただし、同等以上とする場合は、当町監督員の承諾を受けること。

7

環境保全

排ガス対策建設機械及び低騒音型建設機械を使用すること。

8

発生材の処理等

- (1) コンクリート塊、アスファルト塊、路盤材及び廃木材は、神奈川県に指定されている処理指定工場及び再資源化指定事業者として登録されている施設で処分すること。搬出先については事前に当町監督員に確認し、その他の廃材は、適切な施設で処分し、明細を提出すること。
- (2) 再生資源利用計画書及び実施書・再生資源利用促進計画書及び実施書を提出すること。

9

提出書類等

請負人は、当町の指示に従い、次の資料・物品を提出すること。

- ・施工計画書（実施工程書を含む。）
- ・仮設計画書
- ・出来形数量調書
- ・打合せ記録
- ・工事関係書類
- ・その他、監督職員が指示する書類
- ・工事写真